

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回瀬戸警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年3月6日（木）午後2時30分から午後4時30分まで 瀬戸警察署 講堂
出 席 者	1 委員 8名（定数10名） 鍋嶋 洋行 会長 山内 敏也 副会長 藤田 豊秋 委員 廣井 健吉 委員 寺田 康孝 委員 佐藤 典子 委員 細江 鉄男 委員 網田 加奈 委員
	2 警察署員 9名 内田署長 中本副署長 神谷警務課長 伊藤会計課長 安藤生活安全課長 北村地域課長 向田刑事課長 向井交通課長 上原警備課長
	3 有識者等 なし
<p>1 委嘱状の交付 署長から再任及び新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。</p> <p>2 会長及び副会長の選出等 委員の互選により鍋嶋委員を会長に選出し、会長が山内委員を副会長に指名した。</p> <p>3 新会長・新副会長の挨拶</p> <p>4 署長挨拶</p> <p>5 署幹部紹介</p> <p>6 報告内容</p> <p>(1) 管内の治安情勢</p> <p>(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況</p> <p>ア 前回の協議事項 自動車関連窃盗への対策</p> <p>イ 前回の意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる機会・媒体を活用し、自動車関連窃盗の現状を伝えるとともにハンドルロックの利用や防犯カメラの設置等の具体的な防犯対策について広報し、市民一人一人が防犯を意識することにより、地域全体の防犯意識の向上につながる対策の推進 	

<ul style="list-style-type: none">・ 自動車整備振興会、自動車販売店、自動車用品販売店等の各種団体との連携を強化し、特に盗難多発車種ユーザーの広報啓発活動を強化 <p>ウ 施策推進状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ ケーブルテレビと協力したメロディパトロール音源作成、情報番組による防犯広報の放映・ 広報せと、瀬戸市公式LINEを活用した情報発信・ 地域のイベントでの広報・街頭での資料配布・ 組回覧や新聞の折込広告による広報・ ディーラー、カー用品店等への掲示物配布と協力依頼・ 行政窓口利用者への広報啓発・ 盗難多発車種ユーザーを中心とした来庁者への広報啓発 <p>7 協議事項</p> <p>優秀な人材の確保</p> <p>8 発言の要旨</p> <ul style="list-style-type: none">・ パーパス（存在価値・社会的意義）が若者にここ数年は響いている。警察こそパーパスを設定してはどうかと思う。・ 警察官採用において、職務に応じた採用年齢を上げ、転職者を巻き込む広報をしてほしい。・ 給与水準や福利厚生の実態など、待遇面をもっと広報する。・ ワークライフバランスを重視した働き方や多様性を重視した組織であることをアピールする。・ 退職年齢が引上げられ、最終的には65歳となる。警察官は体力的に厳しい職務もあると思うが、45歳から50歳程度まで採用枠の年齢を引上げることで受験者数の増加を図ってみたいだろうか。・ SNSやイベント等で、受験者の年齢が上がったことを広報する。 <p>9 意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none">・ 若者に警察のパーパス（存在価値・社会的意義）を伝える広報の推進・ 警察官の仕事はやりがいがあり、福利厚生、教育等も充実している魅力ある職場であることを伝える広報の推進・ 転職者等の受験者獲得を図るためSNS等を利用した受験資格者の年齢引上げに関する広報の推進 <p>10 その他</p> <p>(1) 速度取締指針の説明 交通課長から、速度取締指針の説明を行った。</p> <p>(2) 次回開催予定 令和7年6月上旬から6月下旬</p>
--

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。